

第9回 EST交通環境大賞表彰
**公共交通活性化のための
弟子屈町の取組**

平成30年2月20日 ルポール 釧町「ロイヤルクリスタル」



弟子屈(てしかが)町の概要

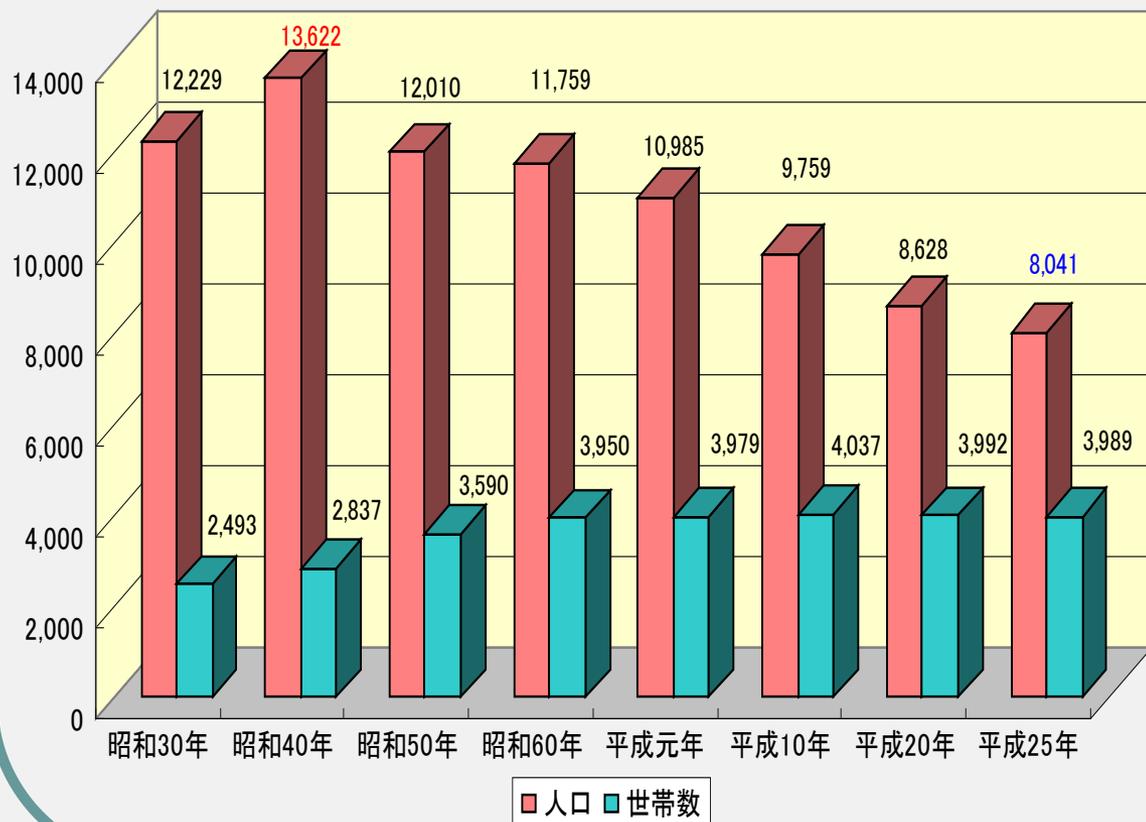
- 位 置 北海道東部、釧路管内の最北地
- 行政面積 774.53km²
- 人 口 7,428人(平成29年12月末)
- 地 勢 千島火山帯に属する高原地帯、面積の70%は山林
- 基幹産業 農業、観光産業
- 観光資源 摩周湖、屈斜路湖、硫黄山
- 温泉資源 川湯、摩周、屈斜路 他

H29.8 阿寒摩周国立公園へ！



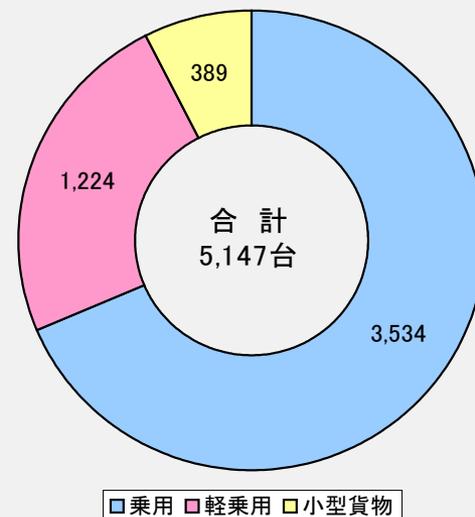
弟子屈町の人口・世帯数の推移

人口及び世帯数の推移



※参考

弟子屈町町の乗用車保有数／平成24年3月末



これまでの取り組みの経緯 その1

平成18年度

釧路公立大学／地域経済研究センター

自然共生型地域観光の展開に向けての研究

平成19年度

国土交通省北海道運輸局

国土交通省北海道開発局

摩周湖周辺におけるエコ交通整備検討に関する調査

摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通体系構築社会実験

平成20年度

弟子屈町地域公共交通活性化協議会設立

地域公共交通総合連携計画策定

平成21年度～23年度

地域公共交通活性化・再生総合事業

弟子屈2daysエコパスポート事業開始

地域公共交通活性化・再生優良団体国土交通大臣表彰

国土交通大臣表彰式



2011年7月12日授与式

- ・国土交通副大臣より授与
- ・小磯学長、徳永町長
- ・企画財政課

弟子屈町公共交通総合連携計画

環境にやさしく、生活交通と観光交通が
一体となった地域交通体系の構築！！

【平成21年3月策定】

【環境】

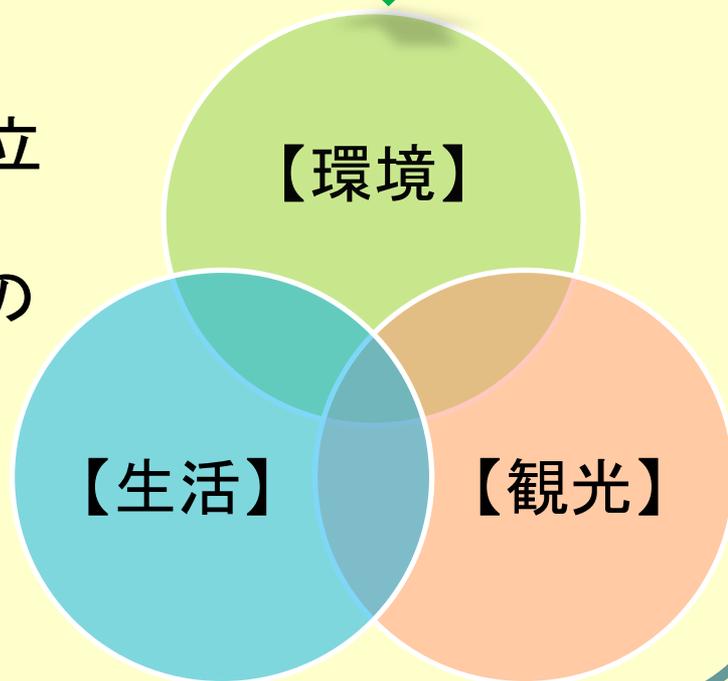
環境にやさしい交通体系の確立

【観光】

滞在型観光を支える2次交通の
充実・強化

【生活】

生活交通の充実による利便性
の向上



地域公共交通活性化・再生総合事業

平成21～23年度

①摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行

- ・JRダイヤに合わせた観光周遊バスの実証運行
- ・バス全路線の燃料にBDF(ニート)使用



②「弟子屈2daysエコパスポート」の発行

- ・JR(摩周駅～川湯温泉駅)及び町内のバス全路線が、1,000円で2日間乗り放題(子ども500円)
- ・地元事業者の多様な特典付き



③駅インフォメーションデスクの設置

- ・町民によるバス販売、観光案内等実施
- ・バス購入者の手荷物無料預かり



④サイクル&ライドの実施

- ・バス購入者に無料で自転車貸し出し



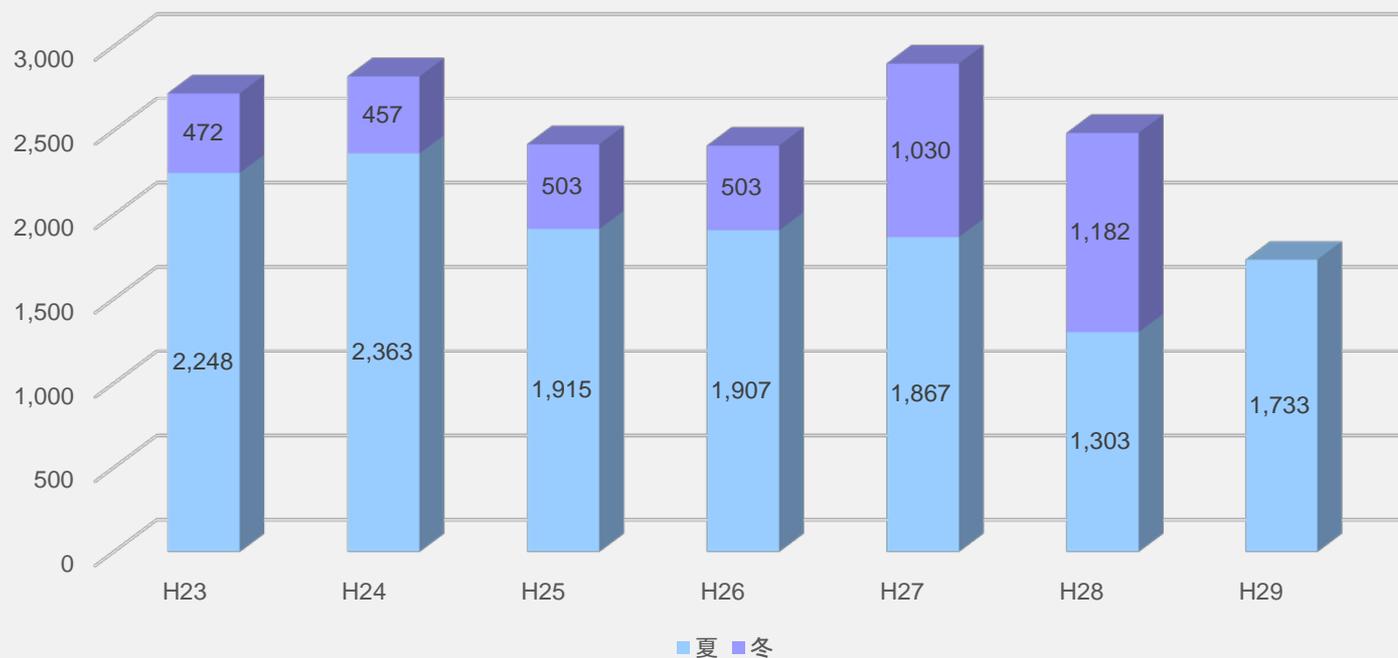
⑤公共交通利用促進・啓蒙活動

- ・ベロタクシーによる啓蒙事業
- ・ノーマイカーデーの実施



利用者数等の推移

利用者数の推移



これまでの取り組みの経緯 その2

平成24年度

弟子屈2daysエコパスポート事業

- ・町単独予算で実施～理事者、議会の理解
- ・地元旅行会社の活用
- ・ブランドとして如何に浸透・持続させるか

地域公共交通確保維持改善事業

- ・北海道市町村生活バス路線運行費補助路線が対象外
-  ※美留和線→バス通学の高校生減少
- ・弟子屈町生活交通ネットワーク計画調査事業
 - ・実態調査に基づく運行時間・ルートの見直し

これまでの取り組みの経緯 その3

平成25年度

地域内フィーダー系統路線運行開始

- ・美留和線 : 本町市街地 ~ 川湯温泉街
- ・3か所の医院、1か所の総合病院、JR摩周駅を廻るルートへ

地域協働推進事業 → 3ヶ年計画

- ・アンケート調査
- ・ワークショップ
- ・バス体験試乗会
- ・交通パンフレット作成 等々

事業実施及び推進の課題

(1) 事業費の確保

- ① 町予算の確保～議会、町民の理解
- ② 事業収支の赤字補てん策～地域経済波及効果の向上
- ③ 国、道の補助事業の活用

(2) 公共性と採算性

- ① サービス維持と経費削減のバランス
- ② 地域生活交通と観光周遊交通との連携
- ③ 民間事業者・団体の活用～将来的には官から民へ

(3) 外国人利用者への持続可能なサービス構築

- ① スタッフの育成、確保～外国人向けの対応、外国語の習得
- ② 外国語バージョンのPR

いずれにしても「乗客を如何に増やすか！」なんですが……。

終わりに ……

- 2月3日(土)～3月4日(日)まで
「冬のえこパス」運行中！

お泊りは、北海道弟子屈町へ!!

ご清聴ありがとうございました！